厳しい財政

町の体力がなくなってきています。

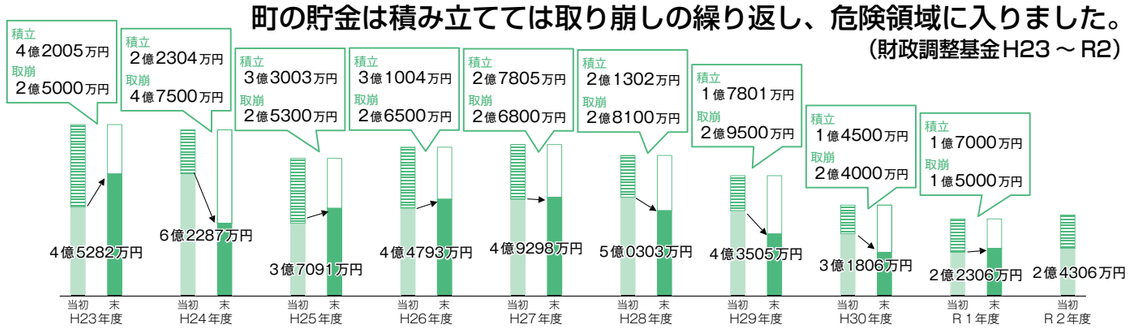
令和元年度　一般会計決算

歳入68億1052万円・歳出65億5628万円

R2年第3回定例議会
9月29日～10月16日

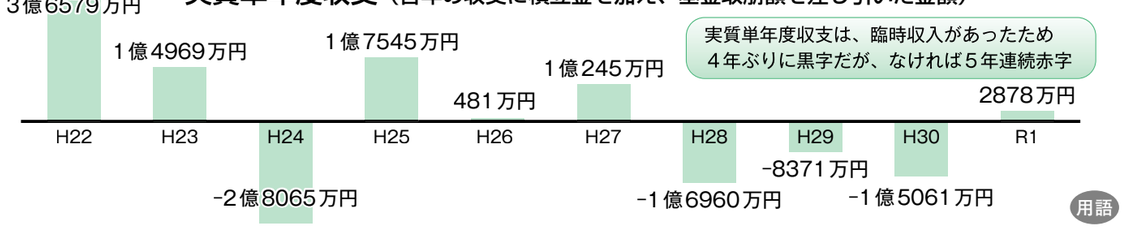
町の貯金は積み立てては取り崩しの繰り返し、危険領域に入りました。

（財政調整基金H23～R2）



財政調整基金		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
前年度末残高		4億5282万	6億2287万	3億7091万	4億4793万	4億9298万	5億0303万	4億3505万	3億1806万	2億2306万	2億4306万
取崩額合計		2億5000万	4億7500万	2億5300万	2億6500万	2億6800万	2億8100万	2億9500万	2億4000万	1億5000万	
積立額合計		4億2005万	2億2304万	3億3003万	3億1004万	2億7805万	2億1302万	1億7801万	1億4500万	1億7000万	1億7000万
当初の残高		6億2287万	3億7091万	4億4793万	4億9298万	5億0303万	4億3505万	3億1806万	2億2306万	2億4306万	
標準財政規模		41億7265万	41億8330万	41億9720万	41億6583万	42億2677万	41億7148万	41億6672万	42億2377万	42億2326万	
基金保有割合		14.9%	8.9%	10.7%	11.8%	11.9%	10.4%	7.6%	5.3%	5.8%	

実質単年度収支（各年の収支に積立金を加え、基金取崩額を差し引いた金額）



実質単年度収支は、臨時収入があったため4年ぶりに黒字だが、なければ5年連続赤字

財政調整基金残高　2億4306万円は?

Q 急激に嵐山町は体力がなくなったのか

A 平成23～24年が嵐山町の基金は頂点で6億2000万円程あった。事業に伴い、取崩が続き現在は2億2000万円で、国の示す標準財政規模の5.8％である。5％を切ると国・県の財政健全化の指導が入る。使っては積むを繰り返している

Q 嵐山町規模で必要な財政調整基金額は

A 標準財政規模の10～15%、4億～6億円は必要であり、災害等の不測の事態に対応できない。財政調整基金の積み立てを増やすことが必要

A (監査委員)投資をしていかなければ収益がない。企業誘致で税が増えても地方交付税は減額される。自治体は町民サービス支出は高齢化等で必須。今年度は臨時収入があったので次年度はどうにかなる。ストック(貯蓄)とフロー(現金の流れ)もみてほしい

監査意見

代表監査委員
堀江國明

台風19号により大きな被害を受けたことより、早期の復旧・復興を図るべく災害対策事業を実施するとともに、4年ぶりの実質単年度財政収支の黒字化を果たす取組を進めてきたが、財政調整基金の年度末残高は、標準財政規模の5％強と最小限のものとなっており厳しい財政運営である。

4年ぶりに実質単年度財政収支は2800万円の黒字となったが、それは臨時収入が約7000万円あったことによるもので、臨時収入がなければ実質単年度収入はマイナスとなり、財政調整基金は1億円台になり、厳しく体力がなくなっている。

用語

※標準財政規模…市町村の標準的な税収を計算し、国が地方交付税を算出する
※財政調整基金…一般家庭の定期貯金に相当する

千年の苑事業　6640万円　ラベンダー祭り開催で経済効果はあった

現地調査　ラベンダー園＝R2.10.7

・千年の苑推進協議会補助金　4879万円
・木製ロープ柵及び階段工事　1217万円

Q ラベンダーが枯れていった原因と今後の方向は

A ラベンダーの株を切り込みすぎたこと、湿気に弱く根腐れがある。株間を広げ、管理用道路をつくり排水をよくし、暑さに強い品種に変えている

Q 75,646人の入場者という経済効果は

A ラベンダー園での効果は1億7500万円、お金を使っていただいた効果は8400万円、メディア等の外に向けての発信が3億800万円と試算されている

Q 千年の苑推進協議会の決算は

A 右の表参照→

収入		支出	
町補助金	4879万3000円	事務費	5068円
ラベンダー園入園料	3363万3000円	視察研修費	1万5190円
出店料	123万円	畑管理費	3013万2344円
駐車料金	24万8000円	ラベンダー祭経費	3961万7825円
摘み取り等手芸教室収入	365万5047円	その他	55万4067円
その他	36円	町へ寄附	1720万円
合計	8755万9083円	合計	8752万4494円

小中学校エアコン設置

小学校空調設備設置工事費　911万円
中学校設置工事費　1003万円

Q 小中学校のエアコンはどの程度設置できたか

A 普通教室は全教室。特別教室は小学校で61%、中学校で62%設置できている

小学校タブレットPC導入 LAN配線工事　1100万円

Q 入札は1社のみ、参加の評価は

A ICTアドバイザーに価格の適正さを伺い判断

R2年3月31日

埼玉中部資源循環組合解散

H24年度～R1までの総負担費　9517万円
組合からの負担金返還金　5608万円
嵐山町の支出額　3882万円

消費税増税率引き上げの影響

嵐山町支出の影響分　半年分で1600万円
幼保無償化で子ども子育て支援臨時交付金　1820万円
※消費税増税で幼保無償化になったが、R1年は国が全額対応するため町に交付された

台風19号被害への対応

・農業用施設　11件572万円
・農地災害1件　192万円
・道路・橋梁6件　717万円
R2年繰越　4件
嵐山邑渓谷プラザ浄化槽　復旧工事　1009万円
甌穴駐車場復旧工事　319万円
塩沢冠水橋復旧工事　163万円等

現地調査　甌穴駐車場復旧工事＝R2.10.7